



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2023年3月1日発行

第33号(通巻第257号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

JR東日本労働組合新潟地方本部第9回定期地方委員会

2023春闘を一人ひとりが創造し 全てのJR労働者の力を合わせて 生活の安定・安心を勝ち取ろう!



新潟地方本部は2月18日、新潟市・万代市民会館多目的ホールにおいて「第9回定期地方委員会」を開催しました。新型コロナウイルスへの感染拡大防止に努めた中で開催し、向こう半年間の活動方針を満場一致で確認しました。

来賓として、中央本部より瀬戸執行副委員長、鳥屋組織部長、本山業務担当部長に出席をいただき、瀬戸執行副委員長よりご挨拶をいただきました。

◇
大会以降組織拡大を実現して頂いた。東日本ユニオン全体で喜び合いたい。

12名の委員が職場からの取り組みを発言

「後輩を守るため」との加入メッセージは言葉の素晴らしさと共に重く受け止め、自信をもって更に加入を促していきたい。

2月8日、2023春闘総決起の場として中央委員会を開催した。

JR東日本は第3四半期決算において大幅な増

委員会は議長に上中越支部長岡地区分会の吉田委員を選出し、スムーズな議事進行が行われました。

活動方針案や暫定予算案など、執行部が提案した議案は全て満場一致で承認されました。

労働者の要求を実現するために 組織の拡大を実現しよう!

新潟地方本部 星山執行委員長あいさつ

今委員会はコロナウイルスの感染対策を万全に施したうえで、傍聴者を迎え久々に100名規模で開催する。より多くの仲間の方針、財政を確認する組織運営ができるようになってきた。

今委員会では、2023年度の暫定予算、そして2023春闘を新潟として



中央本部 瀬戸執行副委員長

取と黒字転換を実現している。しっかりと還元させなければならぬ。

賃金が物価高に追いついていない。削られた2係数を取り返し、安心して生活

更には広範に強く推し進めるための方針を確立する。労働組合に加入するところがネガティブに捉えられている面がある。しかし一方で労働組合が求められている声もある。

誰もが自由に加入できる会社にならなければならぬし、そのような職場風土を創っていく。東日本ユニオンの全組合員で伝えていくことが重要だ。

2021年の賃金改定では昇給係数2が削られた。これがJR東日本における労使のパワーバランスの現実だ。組織拡大を実現することが重要だ。

私たちは2022年度年末手当のたたかいかいにおいて、統一行動を全組合員で一斉に取組むことの重要性を学んだ。統一行動とは団結力を示す。2023春闘でも団結力を発揮し要求を実現しよう。

大会以降、3名の仲間新たに加入して頂いた。加入してくれた仲間は、要求

活が送れるように賃上げを勝ち取ろう。

本部の取り組みである春闘川柳を明るく元気に取り組んで頂きたい。

他労組への共闘も呼びかけている。ユニオンがJR春闘を牽引し、その先頭を本部が牽引していく。

◆
質疑では12名の地方委員から発言を受けました。2023春闘の取り組み、2022年度年末手当以降の継続した取り組み、雪害や職場環境の改善に対する取組み、組織再編をはじめとする会社施策に対する取り組みなど、いずれも職場からのたたかいに根差した教訓に富んだ内容でした。



作りや団体交渉の根拠付け、報告集会など、職場や業務改善のためにユニオンの取り組みに協力してくれてきた経緯がある。

2023春闘は労働組合の必要性を感じている未加入の仲間を訴えかける絶好の取り組みだ。全組合員で進んでいこう。

